

令和元年度「全国高等学校長協会生徒指導研究委員会（全高長）アンケート調査」並びに「全国普通科高等学校長会アンケート調査」

《回答（回答用紙）の記入方法について》

質問に対する回答を選び、回答欄（回答用エクセルシート）の該当箇所に「1」（半角）を入力してください。

## 1 貴校の概要について

問1-1 学級規模

- ① 12学級以下    ② 13～18学級    ③ 19～24学級    ④ 25学級以上

問1-2 所在地の自治体（市町村）

- ① 都道府県庁所在地または政令指定都市  
② ①以外の市  
③ 町または村

問1-3 貴校の状況

- ① 大学進学者が大半を占める普通科の高校  
② 普通科で①③にあてはまらない高校  
③ 就職、専門学校等進路が多様な普通科の高校  
④ 専門学科を主とする高校  
⑤ 定時制（昼間部を含む）・通信制課程の高校

問1-4 貴校生徒の規範意識の状況

- ① 良好であり満足できる状態  
② 一部に課題はあるが良好  
③ 課題がある  
④ 課題が多い

## 2 ネット・SNSについて

問2 携帯電話・スマートフォンに関する貴校での指導の状況について

問2-1 学校内での携帯電話・スマートフォンの扱いについての指導方針

- ① 持ち込み禁止  
② ルールを設けて持ち込みを許可  
③ 特別なルールはない

問2-2 携帯電話・スマートフォンに関する校内での指導の状況

- ① 徹底できている  
② ほぼ徹底できている  
③ あまり徹底できていない  
④ 指導に困っている

問2-3 タブレットやスマートフォンを日常的に活用する授業について

- ① 学校所有のタブレットまたはスマートフォンを活用している  
② 生徒所有のタブレットまたはスマートフォンを活用している  
③ タブレットやスマートフォンを日常的に活用する授業はない

問3 携帯電話・スマートフォンやインターネットをめぐるトラブルの発生状況

問3-1 次の各問題について、平成30年度中に貴校でトラブルはありましたか。①②の中で該当する状況に「1」を記入してください。

項 目		状 況	①発生した	②発生していない (認知していない)
a	いたづら電話、迷惑メール、詐欺メール			
b	メール・SNS等での中傷やいじめ			
c	SNSやコミュニティサイトに関連するトラブル (いじめ以外)			
d	違法情報やアダルトサイトなどの有害サイトの使用に関するトラブル			
e	不正請求等による金銭要求			
f	ネットショッピングやオークションでのトラブル			
g	他人の携帯電話やアカウントの不正使用			
h	著作権や肖像権などの侵害			
i	携帯電話・スマートフォンによる盗撮の被害または加害			
j	その他 (自由記述)			

問3-2 今後、貴校で発生が懸念される程度について①～③の中で該当する状況に「1」を記入してください。

項 目		状 況	①特に懸念している	②少し懸念している	③懸念する状況でない
a	いたづら電話、迷惑メール、詐欺メール				
b	メール・SNS等での中傷やいじめ				
c	SNSやコミュニティサイトに関連するトラブル (いじめ以外)				
d	違法情報やアダルトサイトなどの有害サイトの使用に関するトラブル				
e	不正請求等による金銭要求				
f	ネットショッピングやオークションでのトラブル				
g	他人の携帯電話やアカウントの不正使用				
h	著作権や肖像権などの侵害				
i	携帯電話・スマートフォンによる盗撮の被害または加害				
j	その他 (自由記述)				

問4 生徒に身につけさせたいネットリテラシーとして、貴職が最も優先すべきだとお考えのことを、①～⑨の中から3つ選んでください。

- ① 情報社会への参画に責任ある態度で臨み、義務を果たすこと
- ② 情報に関する自分や他者の権利を理解し、尊重すること
- ③ 情報に関する法律の内容を理解し、遵守すること
- ④ 自他の安全や健康を害するような行動を抑制できること
- ⑤ 公共的な意識を持ち、適切な判断や行動がとれること
- ⑥ 危険を予知して被害を防止するとともに、安全に活用すること
- ⑦ 情報を正しく安全に活用するための知識や技術を身につけること
- ⑧ 情報セキュリティに関する基本的な知識を身につけること
- ⑨ 情報セキュリティの確保のために、対策・対応がとれること

問5 携帯電話・スマートフォンやインターネット等に係る生徒指導上の問題やトラブルに対応していく上で、社会的政策としての必要性について貴職が思う程度について①～③の中で該当するものに「1」を記入してください。

項 目		程 度	①特に必要である	②必要である	③必要性は低い
a	違法な情報提供や違法行為を行うサイトへの取り締まり強化				
b	未成年者に対する有害な情報やサービスの提供を規制するための法的な整備				
c	違法・有害な情報に未成年者がアクセスすることを制限するフィルタリングの普及				
d	警察や国民生活センターなどの関係機関による相談窓口機能の充実				
e	関係機関によるトラブル解決支援機能の充実				
f	社会的な情報マナー・モラルの向上のための啓発活動の拡充・強化				
g	悪用防止に向けた携帯電話会社やプロバイダによる対策の強化				
h	悪用防止に向けたハードウェア・ソフトウェアの製造販売業者による対策の強化				
i	国や自治体の法律や条例による対策の拡充・強化				
j	国・自治体による設備・研修等の予算措置の拡充・強化				
k	学校での情報モラル教育に関する国や自治体の支援強化				
l	学校での情報モラル教育に関する情報通信業界からの支援強化				
m	情報技術等の進展に伴う職員の研修				
n	その他（自由記述）				

3 いじめ問題について

問6 平成30年度にいじめと認知した事案はありましたか。

- ① あった 【問7へ】      ② なかった 【問9へ】

問7 どのような状況でしたか。 (複数回答可)

- ① 冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる
- ② 仲間はずれ、集団による無視をされる
- ③ 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり蹴られたりする
- ④ ひどくぶつかられたり、叩かれたり蹴られたりする
- ⑤ 金品をたかられる
- ⑥ 金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする
- ⑦ 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする
- ⑧ パソコンや携帯電話等で誹謗・中傷や、嫌なことをされる
- ⑨ その他 (具体的に記述してください)

問8 昨年度の特別指導件数の中で「いじめ」が占める割合はどれくらいですか。

- ① 20%以下    ② 21～40%    ③ 41～60%    ④ 61～80%    ⑤ 81%以上

問9 いじめを把握するためにどのような取組をしていますか。 (複数回答可)

- ① アンケート調査の実施
- ② 個別面談の実施
- ③ 教職員と生徒との間で行われる「個人ノート」「生活ノート」等の活用
- ④ 家庭訪問
- ⑤ 相談箱の設置
- ⑥ 相談窓口の周知
- ⑦ その他 (具体的に記述してください)

問10 いじめを解消するためにこれまでにどんな外部機関と連携しましたか。 (複数回答可)

- ① 教育委員会                                  ② 児童相談所
- ③ 市町村関係部署                            ④ 警察
- ⑤ 家庭裁判所                                  ⑥ 児童自立支援施設
- ⑦ 私学の担当部局                            ⑧ その他 (具体的に記述してください)
- ⑨ 特に連携はしなかった

問11-1 いじめを解消する上で課題となっていることはありますか。

①～③の中で該当するものに「1」を記入してください。

項 目		状 況		
		①課題がある	②検討の余地がある	③特に課題はない
a	事態の把握			
b	校内の組織的対応			
c	外部機関との連携			
d	被害生徒からの聞き取り等			
e	被害生徒の保護者対応			
f	加害生徒からの聞き取り等			
g	加害生徒の保護者対応			
h	被害者・加害者以外の生徒への指導			
i	その他 (具体的に記述してください)			

問11-2 問11-1のd～gで「①課題がある」「②検討の余地がある」を選択した学校で具体的事例がありましたら記述してください。

#### 4 不登校問題について

\*不登校の定義（文部科学省）：不登校児童生徒とは「何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しないあるいはしたくともできない状況にあるために年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いたもの」と定義しています。

問12 貴校では平成30年度に不登校生徒はいましたか。

- ① はい 【問13へ】                      ② いいえ 【問14へ】

問13 問12で「① はい」を選択した学校にうかがいます。不登校生徒は昨年度何人いましたか。

□名 【問14へ】

問14 貴校の校務分掌に不登校生徒への支援・指導体制はありますか。

- ① はい                                      ② いいえ

問15 貴校で実際に不登校生徒を支援・指導する場合、どのようなメンバーで行っていますか。（複数回答可）

- ① 該当生徒の学級担任                      ② 該当生徒の学年主任                      ③ 生徒指導主事  
④ 教育相談担当教諭                      ⑤ 養護教諭                                      ⑥ 不登校担当教諭  
⑦ 管理職                                      ⑧ スクールカウンセラー（SC）  
⑨ スクールソーシャルワーカー（SSW）                      ⑩ その他（具体的に記述をしてください）

問16 不登校生徒への支援・指導を行うために、外部機関等の組織を活用していますか。

- ① 積極的に活用している                      ② 必用に応じて活用している                      ③ 活用していない

問17 不登校生徒を支援・指導する場合の課題は何ですか。（複数回答可）

- ① 該当生徒との信頼関係                      ② 該当生徒の保護者との信頼関係  
③ 関係職員の該当生徒に関する情報共有                      ④ 保護者との連絡体制の維持  
⑤ 保護者の問題意識                                      ⑥ 職員の対応する時間の確保  
⑦ 出身中学等からの情報提供                      ⑧ 進級・卒業するための条件  
⑨ その他（具体的に記述をしてください）

問18 不登校生徒を理解する上で、不十分になりがちな情報は何ですか。（複数回答可）

- ① 不登校となった直接的な原因                      ② 不登校生徒の性格・特性  
③ 不登校生徒の交友関係                                      ④ 生まれてからこれまでの生育歴  
⑤ 過去の問題行動等                                      ⑥ 本人と保護者との関係  
⑦ 欠席しているときの行動・様子（家にいるときだけでなく、欠席して外出しているときも含む）  
⑧ 親子関係を除く家庭の状況（祖父母・兄弟との関係、経済状況、家事の状況など）  
⑨ 学校に登校したときの行動・様子                      ⑩ 各種心理検査の結果  
⑪ 身体的健康状態                                      ⑫ その他（具体的に記述をしてください）

問19 不登校生徒を理解する上で、問題となることは何ですか。（複数回答可）

- ① 該当生徒から情報が得にくいこと  
② 保護者の協力が得にくいこと（連絡が取れない、信頼関係が作りづらい等を含む）  
③ 他の生徒からの情報が得にくいこと  
④ 該当生徒の出身中学校（以前の在籍校）からの情報収集が得にくいこと  
⑤ 教員の勤務時間を越えた対応があること  
⑥ 問題を抱える生徒が多く対応ができないこと  
⑦ 教員の経験不足等  
⑧ その他（具体的に記述をしてください）

問20 貴校のスクールカウンセラー（SC）の配置状況はどうですか。

- ① 配置されている 【問21へ】                      ② 配置されていない 【問22へ】

問21 スクールカウンセラー（SC）が配置されている学校に伺います。SCを活用する上での問題や課題は何ですか。（複数回答可）

- ① 生徒・保護者のSCに対する理解                      ② 教職員とSCとの情報共有  
③ 教職員とSCの業務に対する認識のずれ                      ④ SCの勤務時間  
⑤ その他（具体的に記述をしてください）                      【問22へ】

問22 スクールカウンセラー（SC）は、どの程度の配置が必要ですか。なお、配置されている学校も回答してください。

- ① 毎日                                      ② 週複数日                                      ③ 週1日  
④ 月複数日                                      ⑤ 月1日                                      ⑥ 不要

問23 貴校のスクールソーシャルワーカー（SSW）の配置状況はどうか。

- ① 配置されている 【問24へ】                                      ② 配置されていない 【問25へ】

問24 スクールソーシャルワーカー（SSW）が配置されている学校に伺います。SSWを活用する上での問題や課題は何ですか。（複数回答可）

- ① 生徒・保護者の理解                                      ② 教職員とSSWとの情報共有  
③ 教職員とSSWの業務に対する認識のずれ                                      ④ SSWの勤務時間  
⑤ その他（具体的に記述をしてください）                                      【問25へ】

問25 スクールソーシャルワーカー（SSW）は、どの程度の配置が必要ですか。なお、配置されている学校も回答してください。

- ① 毎日                                      ② 週複数日                                      ③ 週1日  
④ 月複数日                                      ⑤ 月1日                                      ⑥ 不要

問26 不登校対策として、貴校で実践している取組等がありましたら記述してください。